



# と い で の

校訓 「自立・創造・敬愛」



高岡市立戸出東部小学校  
令和8年1月8日発行

## 「給食の時間を通して」

給食主任

多くの東部っ子が、給食の時間を楽しみにしています。朝から献立表を見ながら気になっている献立に盛り上がり、休み時間に、にこにこロードから給食室での調理の様子を嬉しそうにのぞいたりしています。

先日、栄養教諭が各学年を回って給食指導を行いました。低学年ではその日の献立に使われる野菜やそれを調理する器具等について学習しました。調理前のカブを実際に手にした児童は、ずっしりとした手ごたえに驚き、顔を寄せて「冷たいね」「土の匂いがする」等、つぶやいていました。その日の給食では温かいポトフとしてカブが提供されました。子供たちは「温かいね」「白くて硬かったのに、透き通って柔らかい」と調理前後の変化に気付くことができました。野菜が苦手だった子も「今日はなんだかおいしい」と食べていたのが微笑ましかったです。

また、調理員が学級訪問した際には、「魚を尻尾から食べたら本当に走るのが速くなりますか」「風邪にかかりにくくなる食事は何か」「好きな野菜は何か」等の質問が出ました。そして、「どうしてこんなにいろいろなメニューを作れるのですか」との質問に、「皆さんがおいしそうに食べる顔を思い浮かべて作るから、楽しくがんばれるのですよ」と調理員が答えると、子供たちは笑顔を浮かべていました。

家庭での食事には、自分を大切に思ってくれる家族の気持ちがあること、給食には調理員や栄養教諭、食材を大切に育てている生産者等、様々な人が関わっていることを意識する機会をもち、感謝の心をもったり自分の食生活を見直したりする児童を育てていきたいと考えています。



## 「挑戦・創る・繋ぐ」

6年担任

6年生は、これまで「挑戦・創る・繋ぐ」を目標に様々な行事に取り組んできました。

宿泊学習に向けた総合の学習では、立山の魅力について自分たちで調べました。情報を集めるだけではなく、みんなが楽しめるクイズや高山植物のビンゴを作りました。計画段階から、「より充実した宿泊学習にするために」を真剣に考えていました。当日は天候にも恵まれ、最高の思い出をつくることができました。



学習発表会の劇では、場面ごとに登場人物の気持ちを考えて演じました。役になりきることを目指し、台詞や振り付けを何度も練習しました。初めは、表現の仕方に苦戦し、思い通りに演じることができず、意見がぶつかることもありました。それでも諦めることなく、真剣に話し合い、課題を乗り越えていきました。全員で協力し、一つの目標に向かって努力した結果、素晴らしい発表を創り上げることができ、子供たちも達成感に満ちていました。



3学期は、「思いを繋ぐ・感謝を伝える」を目標に、これまでお世話になった方々へ感謝の気持ちを伝えるとともに、築き上げられた素晴らしい60年間の伝統を、在校生のみなさんにしっかりと繋いでいきたいと考えています。6年生のみなさん、卒業に向けて、仲間とたくさんの思い出をつくらせていきましょう。保護者の皆様には、これからもご支援とご協力、よろしくをお願いします。